



本校は今年190周年を迎えました

校長室に掲示してある年表には、白根東小学校の長い歴史が記されています。本校は、江戸時代の末期、天保 7(1836) 年 7 月 27 日に、幕府・代官所の許可を得て、西野手習所・松聲堂(しょうせいどう)として始まり、日本一長い歴史と伝統を持つ公立小学校と伝えられてきています。同時期に創立した公立の学校は本校の他にもありましたが、代官所直営であったため、江戸幕府と共になくなってしまいました。しかし本校は、地域の住民が代官所の認可を受けて創立し守ってきた学校であったため、明治の時代になっても存続することができたと言われています。

初代校長は、江戸の儒学者・松井渙斎(かんさい)先生です。校長室前には松井先生の当時の授業風景が飾られています。校長室に訪れる子どもたちは、その様子を見ながら「190 周年とはすごい!」と、その歴史の長さに驚いているようでした。

先日、190 周年を記念して、航空写真を撮影しました。全校で白根東小学校の校章を形づくり、上空からドローンを使って撮影してもらいました。10 年後はいよいよ 200 周年。今の子どもたちが成長していく未来は、どのような社会、学校になっているのでしょうか。これからも白根東小学校を取り巻く皆さんのウェルビーイングが向上できるよう、お力添えいただければ幸いです。



P T A 活動 本会・整備部・教養部・生活指導部の皆様 ありがとうございます



今年の夏も暑いですね。プール清掃できれいになったプールからは、子どもたちの明るい、はしゃいだ声が響いてきます。4 月の登校時の旗振りに始まり、6 月には P T A 活動として、プール清掃、救急法講習会、教育を語る会の実施など、ありがとうございました。役員の皆様には、事前の打ち合わせや活動の実施、当日の会の運営などお力添えをいただき改めて感謝申し上げます。



インターネットやスマートフォンの適切な利用について

教育を語る会では、山梨県立精神保健福祉センターの志田所長様にご講演いただきました。「子どもにスマートフォンを渡す前に知ってほしいこと」として、具体的な事例をもとにお話しいただきました。「子どもの孤独を大人のスマホ依存が作り、その孤独を子どものスマホが癒していること、またその結果、子どもがスマホ依存になってしまうこと」を聞き、確かに大人がスマホやタブレットに夢中になってい



る時には、子どもの様子が見えていないなと危機感を抱きました。大人は、スマホに関わる時間を長くするより、リアルな体験を子どもと一緒にすることが大切であるとのお話もありました。確かに、気が付くと手元のスマホを見てしまうことはありますよね。まずは、自身の行動を振り返り、スマートフォンから離れて子どもと遊んだりお話をしたりする時間をとることが習慣化できるよう努めていきたいですね。

また、様々な状況がある中で、子どもに「こう変わってほしい」と大人が思うのなら、まず子どもの身近な大人が変わる必要性に気付くことが大事であるといった旨のお話もありました。他に求めるばかりでなく自身を変えていく勇気も大切であると改めて感じるところです。

音楽集会できれいな歌声を Tomorrow 全校合唱

朝の「めざましの時間」で、全校合唱をしました。曲は「Tomorrow」。学級でも朝の歌などに歌っていますが、全校で合わせると、さらに素敵な歌声となります。一人ひとりの表情や歌声がとても豊かで、一生懸命「歌う」子どもたちの姿に心温まりました。みなさんも知っている曲かと思いますので、お家でも子どもたちと一緒に歌ってみてください。11月には音楽発表会があります。楽しみですね。



Tomorrow - Tomorrow また明日が 素晴らしい夢と素敵なメロディ
運んできてくれるだろう
Tomorrow - Tomorrow 明日を信じて 翼広げ 飛んでみよう



校内の掲示を紹介します



ただししいメディアの使い方
～保健に関すること～



廊下などの掲示板には、保健、食に関すること、読書の取組など、各分野において、子どもたちの関心が高まるよう掲示が工夫されています。学校にお立ち寄りの際には、ぜひ掲示物もご覧ください。



夏野菜クイズ！など
～食に関すること～



図書室の利用者状況
～読書の取組に関すること～